

環境指標項目	指標 単位	現状値 (R2)	前計画 現状値	前計画 目標値	達成率	評価
1-1 水質汚濁を防ぎ、水環境の整ったきれいな河川や湖沼にしていきます。						
千曲川(4 か所)の BOD 平均値 ※3 か所	mg/ℓ	1.6	1.4	現状維持	87.5%	△
中小河川の BOD 値						
・市街地の河川等平均値(8 か所) ※9 か所	mg/ℓ	2.6	2.6	2.0 以下	76.9%	△
・集落内の河川等平均値(17 か所) ※23 か所	mg/ℓ	2.0	1.9	現状維持	95.0%	○
・山間地の河川等平均値(10 か所) ※11 か所	mg/ℓ	1.0	1.1	現状維持	110.0%	◎
湖沼の COD 値平均値	mg/ℓ	1.9	2.5	2.0 以下	105.3%	○
生活排水適正処理率	%	93.9	85.5	90	104.3%	○
公共下水道等供用開始区域内接続率	%	94.6	85.8	90	105.1%	○
合併処理浄化槽整備区域内の浄化槽設置率	%	53.2	41.5	50	106.4%	○
多自然型工法による護岸等延長	km	5.83	5.83	10	58.3%	△
市民アンケート「水環境に対する満足度」	%	78.8	70	80	98.5%	○

1-2 地下水や飲用水源の汚染を防ぎ、安全でおいしい水を確保していきます。						
水道水源保全地区指定数	か所	29	0	2	1450.0%	◎
水道水源取水量	m³	2,943,600	2,615,312	現状維持	112.6%	◎
無散水融雪施設整備路線延長	km	5.4	5.4	10	54.0%	△
水質汚濁事故件数	件	13	9	0	-	×

1-3 大気汚染や悪臭の発生源対策をすすめ、きれいな空気にしていきます。						
公害苦情件数	件	6	5	0	-	×
道路交通騒音の基準適合状況	%	99.7	95	100	99.7%	○
公害防止協定締結数	件	26	24	積極的に締結	-	○
飯山市役所公用車の低公害化(ハイブリッド車・電気自動車)導入台数	台	6	6	10	60.0%	△
市民アンケート「空気のきれいさに対する満足度」	%	91.7	95	現状維持	96.5%	○
市民アンケート「アイドリングストップ実施状況」	%	59.1	46	75	78.8%	△

1-4 公害や災害の発生を防ぎ、安心して暮らせる環境にしていきます。						
災害防止区域指定数(法指定)	区域	38	39	対策で減少	-	○
災害危険箇所等指定数	か所	798	798	対策で減少	-	△
市民アンケート「災害に対し安全・安心な暮らしに対する満足度」	%	46.8	55	75	62.4%	△
市民アンケート「まちの静かさに対する満足度」	%	95.8	92	現状維持	104.1%	○

環境指標項目	指標 単位	現状値 (R2)	前計画 現状値	前計画 目標値	達成率	評価
2-1 森林・農地・河川が持つ多面的機能を大切にし、色々な工夫と人とのかわりてで保全・活用を図っていきます。						
市面積に占める森林面積の確保率	%	60	59	現状維持	101.7%	○
森林面積	ha	12,106	12,004	現状維持	100.8%	○
市面積に占める耕地面積の確保率	%	16.4	9.8	現状維持	167.3%	◎
耕地面積	ha	3,310	1,654	現状維持	200.1%	◎
市民アンケート「自然の豊かさに対する満足度」	%	86.0	81.6	90	95.6%	○

2-2 在来の生き物たちの生育環境としての生態系を守り、回復し、創出していきます。						
鳥獣保護区指定面積	ha	2,464	2,464	現状維持	100.0%	○
天然記念物指定数	件	15	17	20	75.0%	△
市民アンケート「多様な生物の存在に対する満足度」	%	86.0	80	現状維持	107.5%	○

2-3 緑化をすすめ、自然とのふれあいや生態系のつながりを創出していきます。						
樹木の天然記念物指定数	本	14	16	20	70.0%	△
親水型護岸整備箇所	箇所	7	8	10	70.0%	△
市民アンケート「自然の豊かさに対する満足度」	%	86.0	82	現状維持	104.9%	○

2-4 開発による自然環境への影響を考慮し、適切な保全対策をすすめていきます。						
郷土環境保全地域指定数	箇所	1	1	2	50.0%	△

3-1 歴史的・文化的な環境の保全・活用をすすめ、まちの個性をみがいていきます。						
指定文化財件数	件	93	80	90	103.3%	○
指定文化財における史跡・貴重建造物数	件	18	14	15	120.0%	◎
市民アンケート「歴史・文化保存に対する満足度」	%	81.2	75	現状維持	108.3%	○

3-2 美しい山河や四季の変化などの景観的特徴を守り、活かしていきます。						
景観形成住民協定締結数	地区	6	6	10	60.0%	△
指定文化財における名勝数	箇所	0	0	2	0.0%	×
市民アンケート「風景の美しさに対する満足度」	%	86.0	79	現状維持	108.9%	○

3-3 自然とふれあい、人とふれあう公園や散歩道づくりなどを市民の参加ですすめていきます。						
都市計画公園件数	箇所	8	6	9	88.9%	△
市民一人当たり都市公園面積(※1)	m ²	12.3	11.9	12.4	99.2%	○
フラワーロード植栽延長	km	7.7	7.7	10	77.0%	△
都市計画用途地域内緑地面積率	%	2.3	2.3	2.7	85.2%	△
市民アンケート「身近な公園・広場に対する満足度」	%	55.8	36	45	124.0%	◎

※1 市民一人当たり都市公園面積…前計画数値の算出はH19都市計画基礎調査におけるH22人口見通し23,632人を元に計算

環境指標項目	指標 単位	現状値 (R2)	前計画 現状値	前計画 目標値	達成率	評価
3-4 歴史の趣きと静かなたたずまいを活かして、自然と人とのふれあいのあるまちづくりをすすめていきます。						
都市計画区域内面積	ha	1,272	1,083	1,272	100.0%	○
市民アンケート「福祉への配慮に対する満足度」	%	71.1	58	65	109.4%	○

4-1 雪害対策を強化するとともに、克雪・親雪の工夫を行い、雪を味方にした暮らし方をすすめていきます。						
冬期間の道路交通確保率	%	42	42	55	76.4%	△
無散水融雪施設整備路線延長	km	5.4	5.4	10.0	54.0%	△
流雪溝整備路線延長	km	7	7	20	35.0%	×

4-2 省エネルギーに配慮した暮らしや、自然エネルギー、未利用エネルギーの活用をすすめていきます。						
市内の電力使用量	MWh	143,841	223,134	200,000以下	139.0%	◎
公共施設新エネルギー設備設置施設数	箇所	2	2	10	20.0%	×
市民アンケート「自然エネルギーの利用状況」	%	6.3	7	20	31.5%	×
事業者アンケート「自然エネルギーの利用状況」	%	5.4	1	15	36.0%	×

4-3 環境美化運動をすすめ、環境モラルの向上と環境への監視を強めていきます。						
環境美化一斉行動参加者数 ※R01	人	15	83	150	10.0%	×
各集落での環境美化活動実施率	%	64.0	66	80.0	80.0%	△
不法投棄ごみ回収量	トン	1.91	9.0	0	-	△
ISO14001 またはエコアクション 21 取得・登録事業所	事業所	-	4	10	-	-
市民アンケート「まちのきれいさに対する満足度」	%	80.7	64	65	124.2%	◎
市民アンケート「地域美化活動への参加状況」	%	53.2	47	60	88.7%	△

ISO14001…日本適合性認定協会(JAB)

EA21…県産環協

4-4 ごみを出さない生活スタイル、ごみをつくらない生産スタイルに変えていきます。						
ごみの処理量(※2)	トン	5,055	5,276	4,700以下	93.0%	○
資源物回収量(※3)	トン	910	1,489	1,648	55.2%	△
廃油回収量	Kℓ	2.5	3.5	10	25.0%	×
事業者アンケート「環境にやさしい製品・技術開発への取り組み状況」	%	17.9	15	35	51.1%	△

※2 「もえるごみ」と「もえないごみ」の総量から、もえないごみに含まれる鉄・アルミ等の資源物を差し引いた量

※3 空き缶、金属類、古紙、びん、ペットボトル、プラ製容器包装、古着 + 廃ポリスチレン

環境指標項目	指標 単位	現状値 (R2)	前計画 現状値	前計画 目標値	達成率	評価
4-5 不用品の再使用（リユース）や再生利用（リサイクル）をすすめていきます。						
集団回収量	トン	105	421	590	17.8%	×
ごみのリサイクル率	%	15.3	22.0	26.0	58.8%	△
生ごみ処理器補助基数(※4)	基	23	8.5	40	57.5%	△
ごみステーション整備補助基数(類計)	基	326	286	350	93.1%	○
農業用廃プラスチック回収量	トン	24.4	16	40	61.0%	△
事業者アンケート「廃棄物の減量化への取り組み状況」	%	-	76	80	-	-

※4 環境指標には H19 以降の年平均補助基数を採用

5-1 環境情報の収集・発信や催しの開催など、子どもから大人まで、様々な環境学習のできる機会や場を設けていきます。						
市民アンケート「環境学習等への参加状況」	%	14.4	20	40	36.0%	×
事業者アンケート「環境に関する社員教育への取り組み状況」	%	16.1	20	35	46.0%	×

5-2 子どもたちや親子での自然遊び、自然学習を促進する場と仕組みを作っていきます。						
自然観察会参加人数(総合学習センター主催観察会参加者の合計人数)	人	8	40	100	8.0%	×
市民アンケート「自然観察会等への参加状況」	%	4.4	13	30	14.7%	×

5-3 環境教育や環境行動を積極的にすすめるために、必要な人材育成や支援のための仕組みをつくっていきます。						
子どもエコクラブ登録団体数	団体	0	0	毎年1団体	0.0%	×
みどりの少年団結成団体数	団体	2	2	3	66.7%	△
自然観察インストラクター登録数	人	1	4	10	10.0%	×
市民アンケート「グループ等での活動状況」	%	7.2	10	20	36.0%	×
事業者アンケート「社員のボランティア活動への支援状況」	%	28.6	3	10	286.0%	◎

5-4 環境行動が持続的に行われていくために必要な連携・評価のための仕組みをつくっていきます。						
市民環境モニター委嘱数	人	0	0	10	0.0%	×
市民アンケート「環境調査への参加状況」	%	2.8	6	20	14.0%	×

達成率	評価
50%未満	×
50%以上 90%未満	△
90%以上 110%未満	○
110%以上	◎